

日本航空株式会社  
2016年3月期第3四半期  
決算説明会



2016年1月29日  
取締役専務執行役員 齊藤典和

 **2016年3月期第3四半期 業績概要**

P.1

 **2016年3月期配当金予想**

P.2

 **中期経営計画の進捗等**

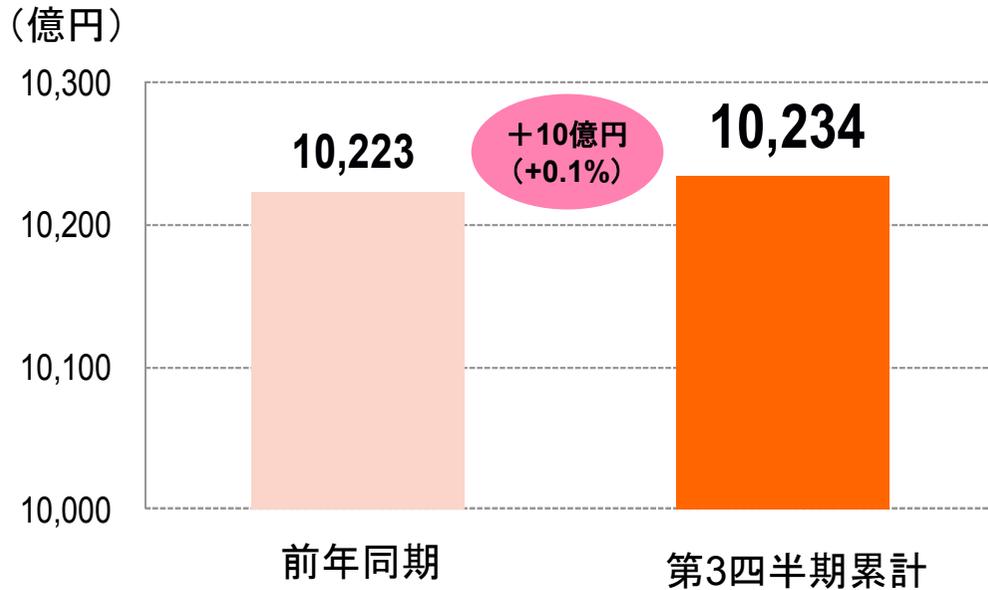
P.3

 **2016年3月期第3四半期 業績詳細**

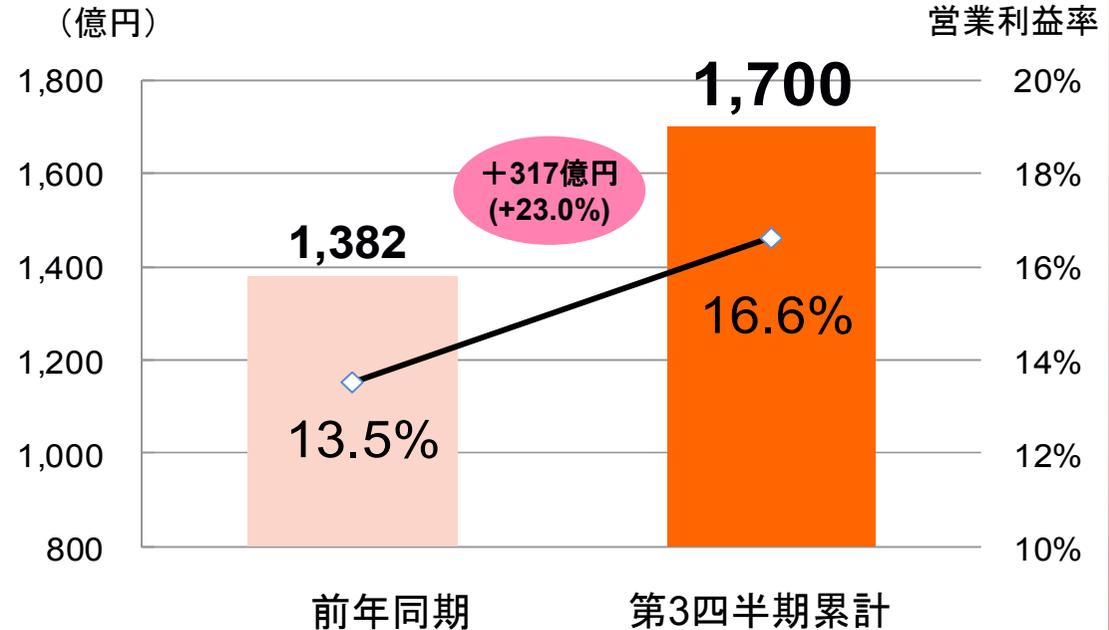
P.4~

 **参考資料**

## 営業収益



## 営業利益



## 燃油・為替市況実績

|                      | 前年同期  | 第3四半期<br>累計 | 前年同期比  |
|----------------------|-------|-------------|--------|
| 為替 (円/USD)           | 105.0 | 121.6       | +15.8% |
| シンガポールケロシン (USD/bbl) | 114.1 | 65.9        | ▲42.3% |
| ドバイ原油 (USD/bbl)      | 98.9  | 52.8        | ▲46.6% |

- ✓ 国内線の増収および燃油市況の下落等により増収増益となり、営業利益は1,700億円
- ✓ 営業利益率は16.6%となり、目標とする営業利益率水準(10%以上)を上回り、引き続き順調に推移

- 2016年3月期第3四半期の営業収益は、国内線の増収等により、前年対比0.1%増加し1兆234億円となりました。
- 営業利益については、円安の影響は受けたものの、増収・コスト削減努力及び燃油市況の大幅下落等により対前年317億円増加し1,700億円となりました。
- 営業利益率については16.6%となり、目標とする10%以上の水準を上回り、引き続き順調に推移しております。

## 配当金予想

|                      | 2015年3月期<br>実績 | 2016年3月期 見通し     |
|----------------------|----------------|------------------|
|                      |                | 今回公表値            |
| 当期純利益 <sup>(※)</sup> | 1,490億円        | <b>1,720億円</b>   |
| 法人税等調整額              | 13億円           | —                |
|                      | 1,503億円        | <b>1,720億円</b>   |
| 配当金総額                | 377億円          | <b>431億円</b>     |
| 発行済株式総数              | 362,704千株      | <b>362,704千株</b> |
| 1株当たり配当金額            | 104.00円        | <b>119.00円</b>   |

2016年3月期の1株当たり配当金

2016年3月期  
**119円00銭**  
(予想)

15円増配  
(+14.4%)

2015年3月期  
**104円00銭**

### 配当金計算

親会社株主に帰属する  
当期純利益から  
法人税等調整額の  
影響を除いた額の  
**25%程度**

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

通期業績予想については、2015年10月30日公表時点から変更ございません

- 通期業績予想につきましては、2015年10月30日公表時点から変更しておりません。
- 配当金総額については、これまで通り、親会社株主に帰属する当期純利益から法人税等調整額の影響を除いた額の25%程度を予定しており、今期の配当金は1株当たり119円、前期比15円の増配を予定しております。

## 商品・サービスの強化

～2015年の定時到着率で世界第1位に～

※2016年01月07日発表

- ✓ 主要航空会社部門： 第1位
- ✓ アジア・パシフィック主要航空会社部門： 第1位
- ✓ アライアンス部門： 第1位(ワンワールド)



～国際線における再利用意向で3年連続第1位、顧客満足度でも初の第1位を獲得(2015年度JCSI(\*)調査)～

※2015年11月04日発表

(\*)日本版顧客満足度指数

|               | 国際線    | 国内線    |
|---------------|--------|--------|
| ロイヤルティ(再利用意向) | 1位(1位) | 5位(3位) |
| 他者推奨意向        | 2位(1位) | 3位(3位) |

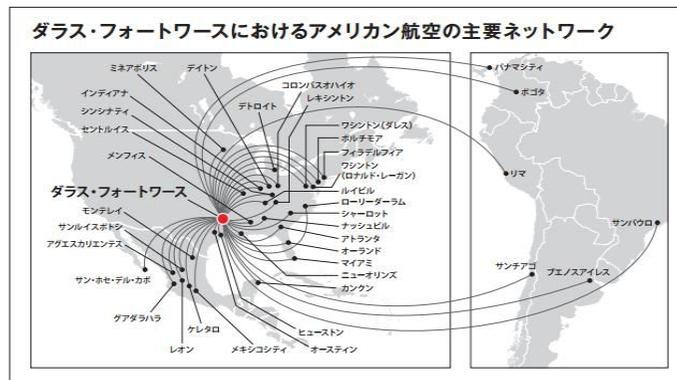
( )内は昨年度



## 路線・ネットワークの拡充 等

～引き続き、ネットワークを拡充～

- ✓ 2015年11月30日～
  - ・成田＝ダラス・フォートワース線開設 (787-8型機)
- ✓ 2015年10月25日～
  - ・羽田＝上海(浦東)線開設
  - ・羽田＝広州線開設
  - ・羽田＝北京線増便 (767-300ER型機)



～昨年に引き続き、「健康経営銘柄2016」に選定～

※2016年1月21日発表



(乗務前のストレッチ風景)



- 商品・サービス面では、当社は2015年の定時到着率で米国FlightStats(フライト・スタッツ)社より、世界第1位に認定されました。
- また、2015年度のJCSI調査において、国際線の再利用意向で3年連続第1位を獲得いたしました。
- 路線・ネットワーク面では、11月30日より成田=ダラス・フォートワース線を開設したほか、羽田空港発着の中国路線を10月25日より拡充いたしました。
- さらに、当社は、昨年に引き続き、経済産業省および東京証券取引所から「健康経営銘柄」に選定されました。

## 2016年3月期 第3四半期 連結経営成績

| (単位:億円)                        | 前年同期   | 第3四半期<br>累計   | 前年<br>同期比 | 第3四半期 <sup>(5)</sup> | 前年<br>同期比 |
|--------------------------------|--------|---------------|-----------|----------------------|-----------|
| 営業収益                           | 10,223 | <b>10,234</b> | +0.1%     | 3,354                | ▲0.9%     |
| 航空運送連結                         | 9,099  | <b>9,232</b>  | +1.5%     | 3,029                | +0.8%     |
| 営業費用                           | 8,841  | <b>8,533</b>  | ▲3.5%     | 2,854                | ▲2.7%     |
| 航空運送連結                         | 7,860  | <b>7,676</b>  | ▲2.3%     | 2,568                | ▲1.0%     |
| 営業利益                           | 1,382  | <b>1,700</b>  | +23.0%    | 500                  | +10.2%    |
| 航空運送連結                         | 1,238  | <b>1,555</b>  | +25.6%    | 461                  | +11.8%    |
| 営業利益率 (%)                      | 13.5%  | <b>16.6%</b>  | +3.1pt    | 14.9%                | +1.5pt    |
| 経常利益                           | 1,374  | <b>1,704</b>  | +24.0%    | 478                  | +4.5%     |
| 四半期純利益 <sup>(1)</sup>          | 1,196  | <b>1,436</b>  | +20.1%    | 402                  | +2.4%     |
| ASK(百万席キ口)                     | 63,404 | <b>63,514</b> | +0.2%     | 21,007               | +0.4%     |
| RPK(百万人キ口)                     | 45,345 | <b>47,220</b> | +4.1%     | 15,704               | +4.5%     |
| EBITDAマージン (%) <sup>(2)</sup>  | 19.9%  | <b>23.0%</b>  | +3.2pt    | 21.6%                | +1.7pt    |
| EBITDARマージン (%) <sup>(3)</sup> | 21.8%  | <b>24.8%</b>  | +3.0pt    | 23.3%                | +1.5pt    |
| ユニットコスト(円) <sup>(4)</sup>      | 8.8    | <b>9.2</b>    | +0.5      | 9.5                  | +0.5      |
| 燃油費含む                          | 12.4   | <b>12.1</b>   | ▲0.3      | 12.2                 | ▲0.2      |

- ✓ 営業収益は前年比+0.1%の10,234億円
- ✓ 営業利益は前年比+23.0%の1,700億円
- ✓ 営業利益率は16.6%
- ✓ 経常利益は前年比+24.0%の1,704億円
- ✓ 四半期純利益は前年比+20.1%の1,436億円

- 注: 1. 親会社株主に帰属する四半期純利益  
 2. EBITDAマージン=EBITDA/営業収益 EBITDA=営業利益+減価償却費  
 3. EBITDARマージン=EBITDAR/営業収益 EBITDAR=営業利益+減価償却費+航空機材賃借料  
 4. ユニットコスト=航空運送連結費用(燃油費、収入費用両建ての関連会社向け取引を除く)/ASK  
 5. 第3四半期(10-12月)の実績は第3四半期累計実績(4-12月)から第2四半期累計実績(4-9月)の実績を差し引いて算出

- 営業収益につきましては、第3四半期累計で、国内線旅客収入の増加などから、前年同期に比べ0.1%増加の1兆234億円となりました。
- 営業費用につきましては、円安の影響はありましたが、燃油市況が大幅に下落したことなどから、前年同期比3.5%減少し8,533億円となりました。引き続き、売上最大・経費最小に努めてまいります。
- 結果、第3四半期累計の営業利益は1,700億円となり、売上高営業利益率は16.6%、EBITDARマージンは24.8%となりました。

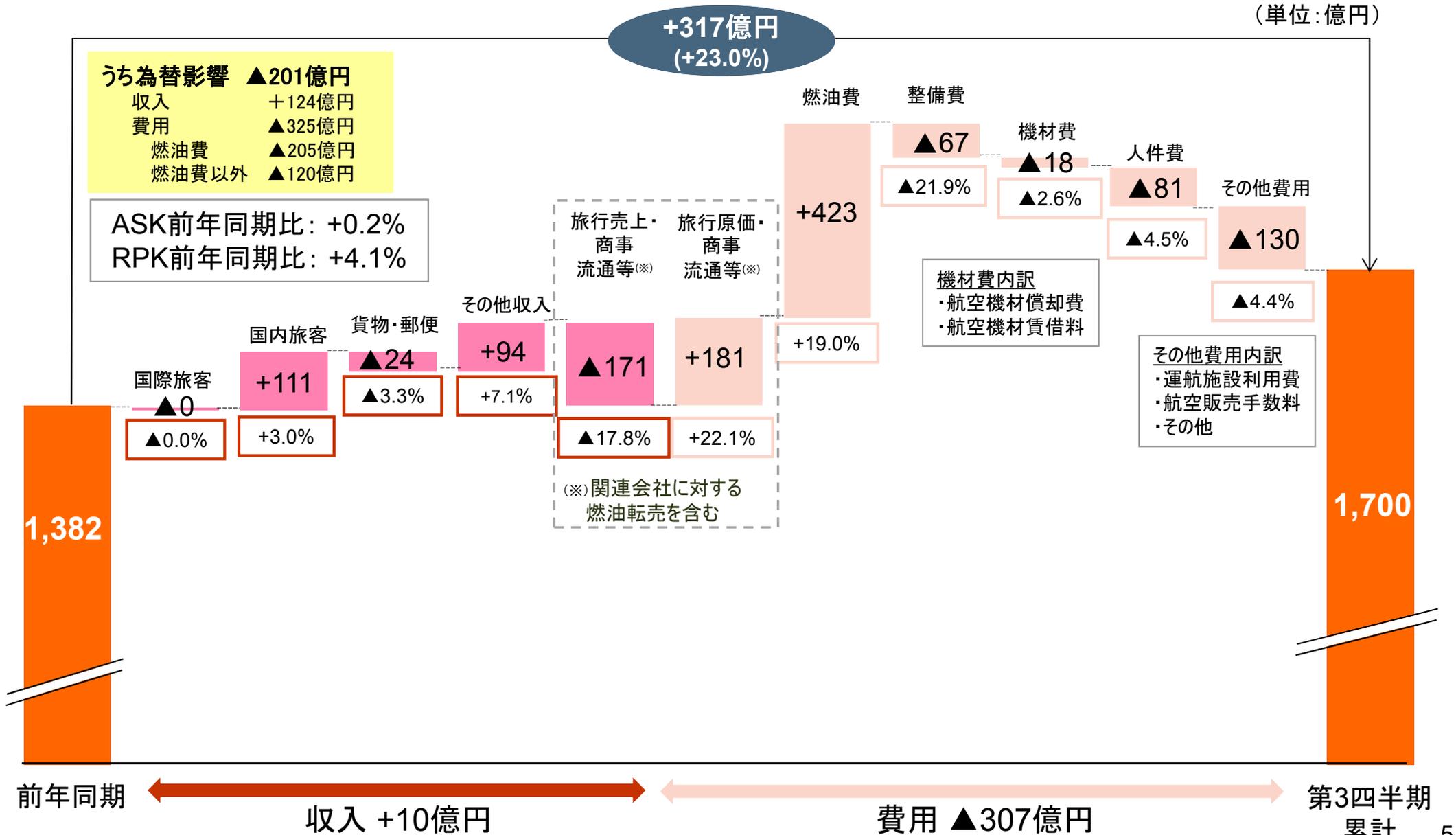
# 営業利益増減の推移



JAPAN AIRLINES

## 2016年3月期 第3四半期

(単位: 億円)



- 収入面では、国内旅客の好調により、前年対比10億円の増収となりました。
- 収入のうち、国際旅客は燃油サーチャージ収入が減少したものの、海外発需要の好調に伴う旅客数の増加から、前年並みにとどまりました。国内旅客は、需要喚起策が奏功したことなどから個人旅客が増加したため、前年対比111億円の増収となりました。
- 費用面では、燃油市況が大幅に下落したことなどから、前年対比307億円減少しました。

# 国際旅客事業(輸送実績)



JAPAN AIRLINES

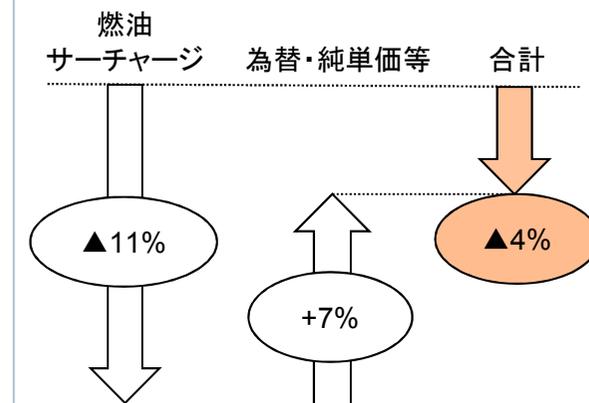
## 国際旅客事業の状況

|                                 | 前年同期   | 第3四半期<br>累計   | 前年同期比  | 第3四半期<br>(1) | 前年同期比  |
|---------------------------------|--------|---------------|--------|--------------|--------|
| 旅客収入<br>(億円)                    | 3,459  | <b>3,459</b>  | ▲0.0%  | 1,103        | ▲1.5%  |
| ASK<br>(百万席キ口)                  | 35,946 | <b>36,347</b> | +1.1%  | 12,108       | +1.3%  |
| RPK<br>(百万人キ口)                  | 27,102 | <b>28,750</b> | +6.1%  | 9,441        | +5.9%  |
| 有償旅客数<br>(千人)                   | 5,808  | <b>6,066</b>  | +4.5%  | 1,973        | +3.2%  |
| 座席利用率<br>(%)                    | 75.4%  | <b>79.1%</b>  | +3.7pt | 78.0%        | +3.4pt |
| イールド <sup>(2)</sup><br>(円)      | 12.8   | <b>12.0</b>   | ▲5.7%  | 11.7         | ▲7.0%  |
| ユニットレベニュー <sup>(3)</sup><br>(円) | 9.6    | <b>9.5</b>    | ▲1.1%  | 9.1          | ▲2.8%  |
| 単価 <sup>(4)</sup><br>(円)        | 59,568 | <b>57,030</b> | ▲4.3%  | 55,901       | ▲4.6%  |

✓ 旅客収入は3,459億円となり前年並み

✓ ASKは前年比+1.1%、RPKは前年比+6.1%となった結果、座席利用率は+3.7ptの79.1%

### 単価変動要因(概算)



- 注: 1. 第3四半期(10-12月)の実績は第3四半期累計実績(4-12月)から第2四半期累計実績(4-9月)の実績を差し引いて算出  
 2. イールド=旅客収入/RPK  
 3. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK  
 4. 単価=旅客収入/有償旅客数

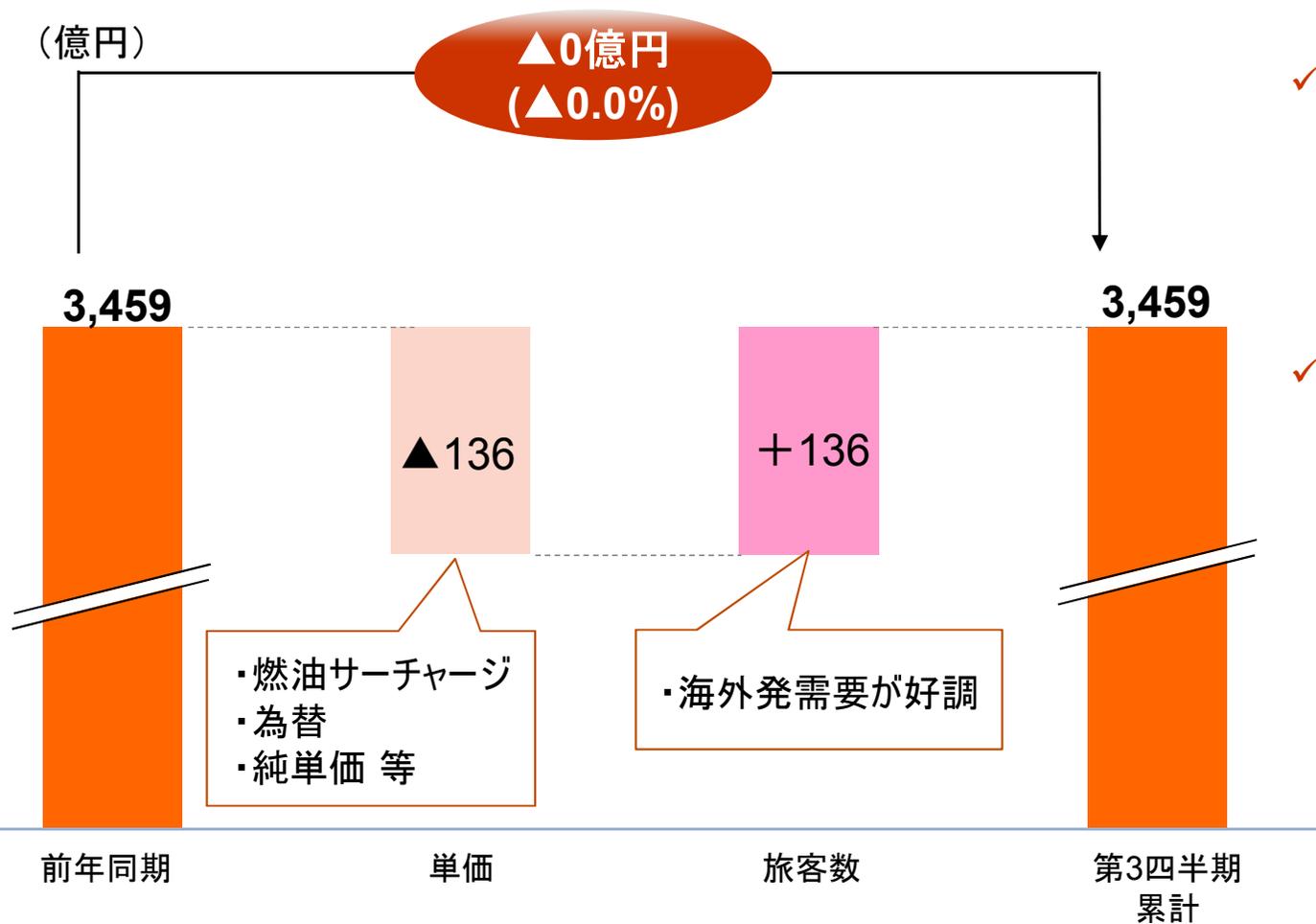
- 国際線においては、ASKはダラス・フォートワース線開設や中国線増便などにより、前年対比1.1%増加する中、RPKは旺盛なインバウンド需要を獲得したことなどから同6.1%増加した結果、座席利用率は同3.7ポイント上昇し79.1%となりました。
- 単価については4.3%下落いたしました。右下の図にある通り、燃油サーチャージの減収により単価が約11%減少したことを考慮すると、燃油サーチャージを除いた単価は約7%上昇したものと試算しております。

# 国際旅客事業(旅客収入の推移)



JAPAN AIRLINES

2016年3月期 第3四半期



- ✓ 燃油サーチャージ減により単価が下落したものの、レベニューマネジメントやJAL SKY SUITE導入拡大により、座席利用率・純単価が向上
- ✓ 東南アジア線を中心に、海外発需要が大きく伸張

- 単価要因では、燃油サーチャージ収入の減少があったものの、円安効果やレベニューマネジメント等による純単価の上昇により、単価の下落を一部相殺しました。
- 旅客数要因では、東南アジア線を中心に、引き続きインバウンド需要が増加しました。
- 以上より、国際旅客収入は、前年並みの3,459億円となりました。

# 国内旅客事業(輸送実績)



JAPAN AIRLINES

## 国内旅客事業の状況

|                              | 前年同期   | 第3四半期累計       | 前年同期比  | 第3四半期 <sup>(1)</sup> | 前年同期比  |
|------------------------------|--------|---------------|--------|----------------------|--------|
| 旅客収入(億円)                     | 3,730  | <b>3,841</b>  | +3.0%  | 1,273                | +2.0%  |
| ASK(百万席キ口)                   | 27,458 | <b>27,166</b> | ▲1.1%  | 8,899                | ▲0.8%  |
| RPK(百万人キ口)                   | 18,242 | <b>18,469</b> | +1.2%  | 6,263                | +2.6%  |
| 有償旅客数(千人)                    | 24,056 | <b>24,377</b> | +1.3%  | 8,294                | +2.4%  |
| 座席利用率(%)                     | 66.4%  | <b>68.0%</b>  | +1.5pt | 70.4%                | +2.3pt |
| イールド <sup>(2)</sup> (円)      | 20.4   | <b>20.8</b>   | +1.7%  | 20.3                 | ▲0.6%  |
| ユニットレベニュー <sup>(3)</sup> (円) | 13.6   | <b>14.1</b>   | +4.1%  | 14.3                 | +2.8%  |
| 単価 <sup>(4)</sup> (円)        | 15,507 | <b>15,759</b> | +1.6%  | 15,356               | ▲0.3%  |

- ✓ 旅客収入は前年比+3.0%の3,841億円
- ✓ ASKが前年比▲1.1%に対し、RPKは+1.2%。座席利用率は1.5pt上昇し68.0%
- ✓ イールドは前年比+1.7%、単価は前年比+1.6%

- 注: 1. 第3四半期(10-12月)の実績は第3四半期累計実績(4-12月)から第2四半期累計実績(4-9月)の実績を差し引いて算出  
 2. イールド=旅客収入/RPK  
 3. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK  
 4. 単価=旅客収入/有償旅客数

- 国内線におきましては、ASKは前年対比1.1%減少したものの、RPKが1.2%増加した結果、座席利用率は同1.5ポイント上昇の68.0%となりました。
- レベニューマネジメントの効果などにより、イールドは前年対比1.7%増加、単価が同1.6%増加したため、国内旅客収入は前年対比3.0%増加の3,841億円となりました。

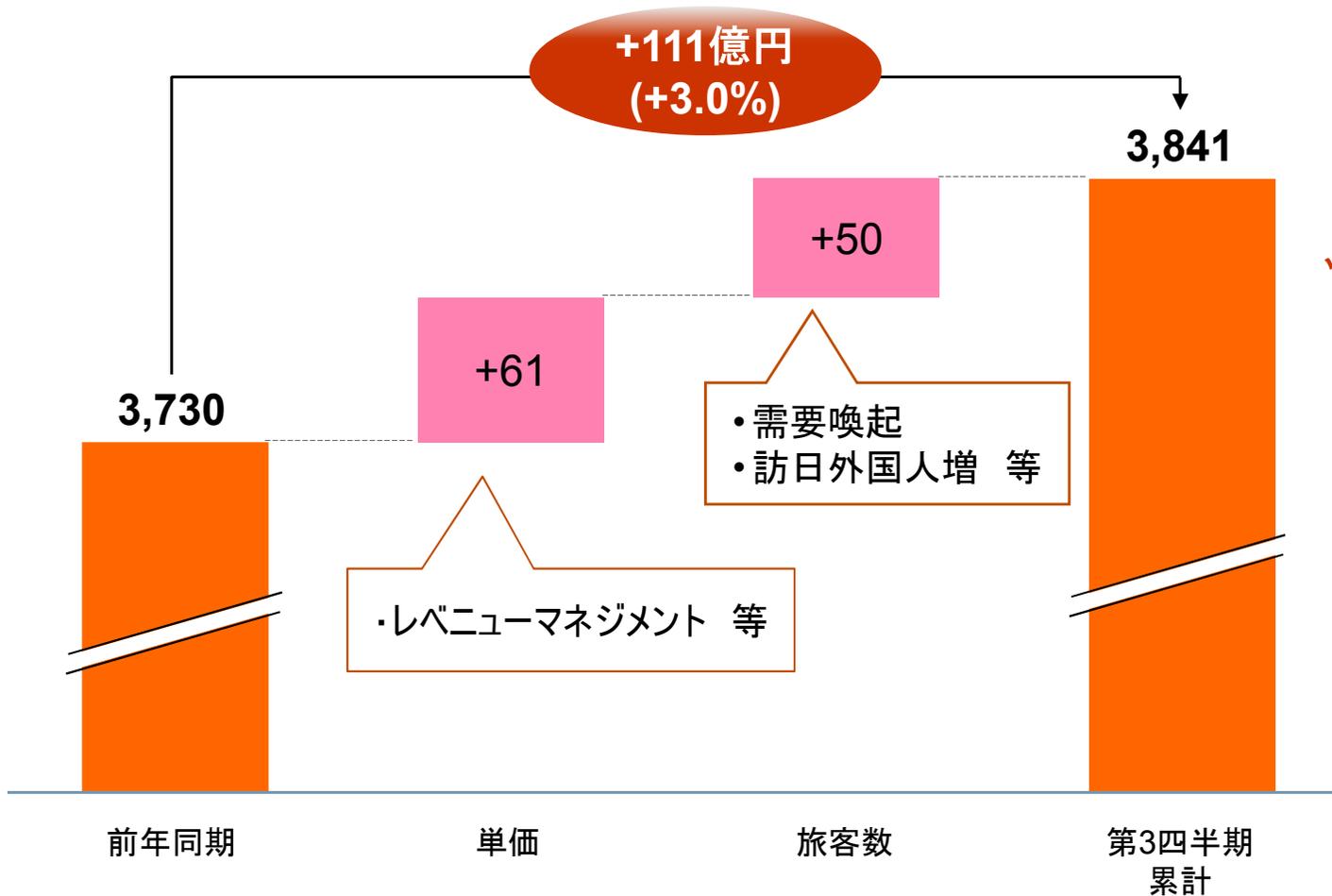
# 国内旅客事業(旅客収入の推移)



JAPAN AIRLINES

2016年3月期 第3四半期

(億円)



- ✓ レベニューマネジメントによる需要構成の変化
  - ・JAL SKY NEXTが好評
  - ・個人旅客の増加
- ✓ 需要喚起策の実施などによる旅客増
  - ・「ウルトラ先得」の新設(2015年4月～)
  - ・訪日外国人旅行者の増加

- 単価要因では、レベニューマネジメントによる需要構成の変化などから、前年対比61億円の増加となりました。
- 旅客数要因では、ASKが前年対比1.1%減少したにもかかわらず、「ウルトラ先得」の新設や訪日外国人旅行者の増加などにより、前年対比50億円の増加となりました。

# 主要営業費用項目



JAPAN AIRLINES

## 営業費用内訳

| (単位:億円)                       | 前年同期         | 第3四半期<br>累計  | 前年差         | 前年<br>同期比    | 第3四半期 <sup>(1)</sup> | 前年差        | 前年<br>同期比    |
|-------------------------------|--------------|--------------|-------------|--------------|----------------------|------------|--------------|
| 燃油費                           | 2,230        | <b>1,807</b> | ▲423        | ▲19.0%       | 581                  | ▲134       | ▲18.8%       |
| 運航施設利用費                       | 613          | <b>622</b>   | +8          | +1.5%        | 206                  | +2         | +1.0%        |
| 整備費                           | 308          | <b>375</b>   | +67         | +21.9%       | 123                  | +30        | +32.8%       |
| 航空販売手数料                       | 180          | <b>185</b>   | +4          | +2.6%        | 60                   | +0         | +0.1%        |
| 航空機材償却費                       | 502          | <b>537</b>   | +34         | +6.9%        | 182                  | +11        | +6.8%        |
| 航空機材賃借料                       | 195          | <b>179</b>   | ▲16         | ▲8.4%        | 56                   | ▲7         | ▲11.0%       |
| 人件費                           | 1,789        | <b>1,870</b> | +81         | +4.5%        | 642                  | +26        | +4.4%        |
| 旅行原価・商事<br>流通等 <sup>(2)</sup> | 822          | <b>641</b>   | ▲181        | ▲22.1%       | 205                  | ▲48        | ▲19.1%       |
| その他                           | 2,197        | <b>2,315</b> | +117        | +5.3%        | 794                  | +41        | +5.5%        |
| <b>営業費用計</b>                  | <b>8,841</b> | <b>8,533</b> | <b>▲307</b> | <b>▲3.5%</b> | <b>2,854</b>         | <b>▲77</b> | <b>▲2.7%</b> |

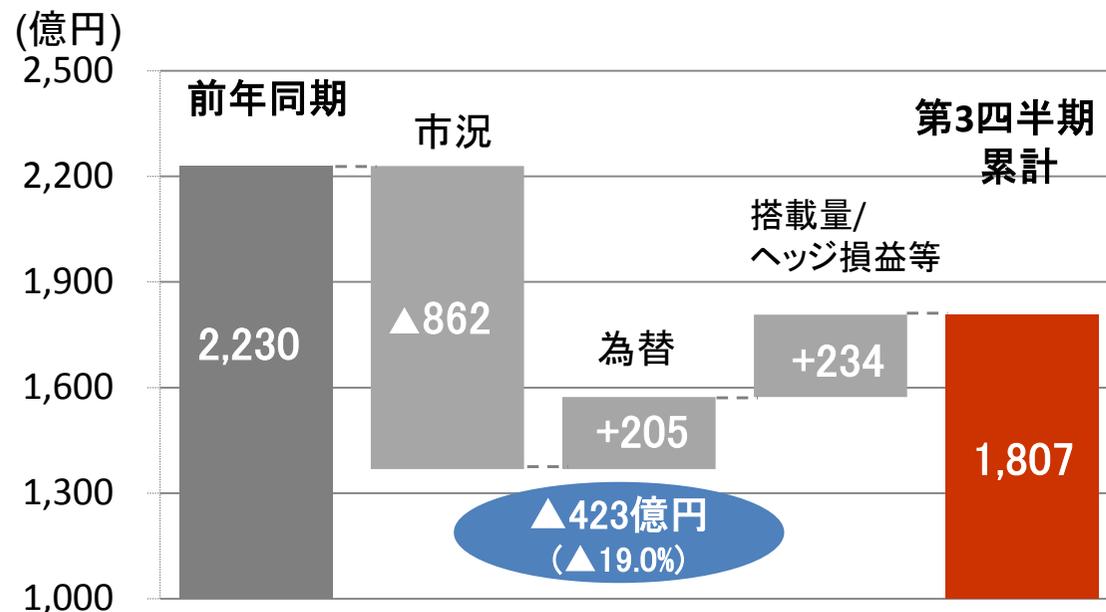
- ✓ 円安およびサービス強化のため  
の一部コスト増はあるものの、  
経費削減努力を継続中
- ✓ 燃油費は市況下落等により  
423億円減少(うち、円安  
影響で205億円増加)
- ✓ 整備費は主に円安影響で  
増加
- ✓ 人件費はベースアップ、  
賞与増および為替影響等  
により、前年比81億円増加

ASK前年比: +0.2%

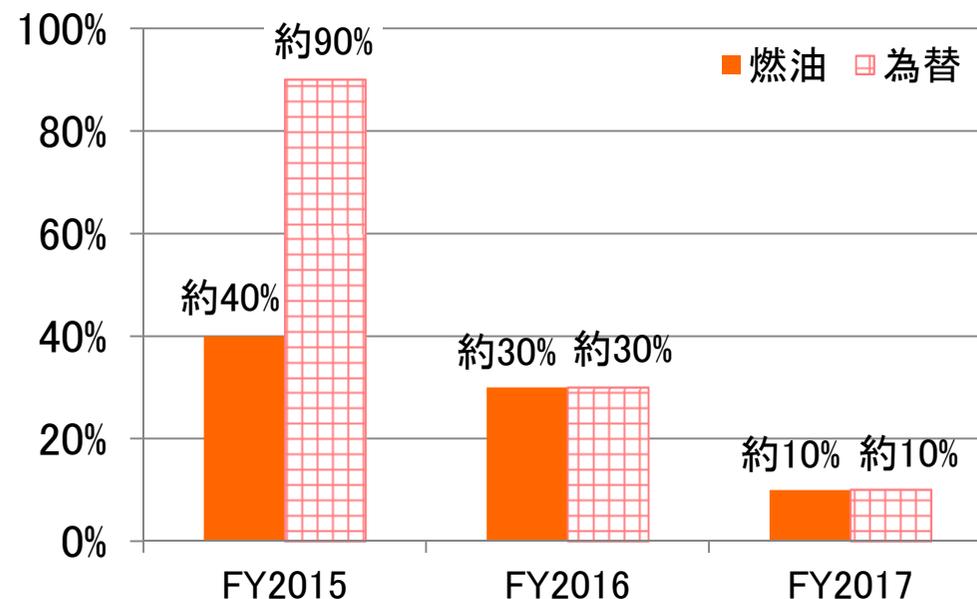
注: 1. 第3四半期(10-12月)の実績は第3四半期累計実績(4-12月)から第2四半期累計実績(4-9月)の実績を差し引いて算出  
2. 関連会社に対する燃油転売を含む

- 燃油費は、423億円減少の1,807億円となりました。
- 整備費については、主として円安に伴い増加しました。
- 人件費は、ベースアップの実施や賞与の増加、為替影響などにより、前年対比81億円増加しました。
- 旅行原価・商事流通等の減少については、整備系子会社で行っていた航空機部品の商事流通業務の大幅な縮小、および関連航空会社に対する燃油転売を昨年度よりネット計上に変更したことによります。
- 「その他」が117億円増加した要因は、主にサービス強化のための費用の増加及び円安となります。
- 営業費用全体では前年対比3.5%減少の8,533億円となりましたが、経費削減努力を継続してまいります。

## 燃油費増減の推移



## 燃油費に対する年度別ヘッジ概況 (2015年12月末時点)



## 燃油・為替前提

|                      | 前年同期  | 第3四半期累計 | 前年同期比  |
|----------------------|-------|---------|--------|
| 為替 (円/USD)           | 105.0 | 121.6   | +15.8% |
| シンガポールケロシン (USD/bbl) | 114.1 | 65.9    | ▲42.3% |
| ドバイ原油(USD/bbl)       | 98.9  | 52.8    | ▲46.6% |

## 燃油費への感応度(ヘッジなし)

### 燃油費への影響(年間)

|                  |       |
|------------------|-------|
| 原油 (1USD/bblの変動) | 約26億円 |
| 為替 (1円/USDの変動)   | 約17億円 |

- 燃油費減少の要因につきましては、左上のグラフをご覧ください。  
市況の下落により前年対比862億円減少したものの、円安のため205億円増加、搭載量やヘッジ損益等により234億円増加した結果、前年対比423億円減少いたしました。
- 燃油費に対するヘッジの概況は、右上のグラフでお示ししております。

## 2016年3月期第3四半期末 連結財務状況

| (単位: 億円)                 | 前年度末<br>2015/3/31 | 第3四半期末<br>2015/12/31 | 前年度末差  |
|--------------------------|-------------------|----------------------|--------|
| 総資産                      | 14,733            | <b>15,457</b>        | +724   |
| 現金及び預金                   | 3,649             | <b>3,655</b>         | +5     |
| 有利子負債残高 <sup>(1)</sup>   | 1,005             | <b>798</b>           | ▲207   |
| オフバランス<br>未経過リース料        | 1,250             | <b>1,050</b>         | ▲200   |
| 自己資本                     | 7,764             | <b>8,685</b>         | +921   |
| 自己資本比率 (%)               | 52.7%             | <b>56.2%</b>         | +3.5pt |
| D/Eレシオ(倍) <sup>(2)</sup> | 0.1x              | <b>0.1x</b>          | ▲0.0x  |

✓ 有利子負債残高は返済等により207億円減少し798億円

✓ 自己資本比率は56.2%

注: 1. 割賦未払金を含む  
2. D/Eレシオ=(オンバランス有利子負債)/(自己資本)

(参考) ※第3四半期末  
オフバランス未経過リース料込みのD/Eレシオ:0.2x

- 有利子負債残高は、長期借入金やリース債務の返済を進め、前年度末から 207億円減少の798億円となりました。
- オフバランス未経過リース料は、前年度末から200億円減少して1,050億円となりました。
- 自己資本比率は、純利益の計上などにより、前年度末から3.5ポイント増加して56.2%に上昇しました。なお、今期末に退職給付債務算定的前提を変更し、退職給付に係る負債額が約500億円増加する見込みであることから、今期末には53.8%程度まで低下する見込みです。

# キャッシュフローの状況(実績)



JAPAN AIRLINES

| (単位:億円)                           | 前年同期          | 第3四半期 累計      | 前年同期差       |
|-----------------------------------|---------------|---------------|-------------|
| 税金等調整前四半期純利益                      | 1,368         | 1,723         | +354        |
| 減価償却費                             | 647           | 658           | +10         |
| その他                               | ▲171          | ▲141          | +30         |
| <b>営業キャッシュフロー合計</b>               | <b>1,844</b>  | <b>2,239</b>  | <b>+395</b> |
| 設備投資額 <sup>(1)</sup>              | ▲1,644        | ▲1,606        | +38         |
| その他                               | ▲8            | 1             | +9          |
| <b>投資キャッシュフロー合計<sup>(2)</sup></b> | <b>▲1,653</b> | <b>▲1,604</b> | <b>+48</b>  |
| <b>フリーキャッシュフロー<sup>(3)</sup></b>  | <b>191</b>    | <b>635</b>    | <b>+443</b> |
| 有利子負債返済 <sup>(4)</sup>            | ▲311          | ▲255          | +56         |
| 配当金・その他                           | ▲313          | ▲368          | ▲55         |
| <b>財務キャッシュフロー</b>                 | <b>▲624</b>   | <b>▲623</b>   | <b>+0</b>   |
| <b>キャッシュフロー合計<sup>(5)</sup></b>   | <b>▲433</b>   | <b>11</b>     | <b>+444</b> |
| EBITDA                            | 2,030         | 2,358         | +328        |
| EBITDAR                           | 2,225         | 2,537         | +311        |

- 注: 1.固定資産の取得による支出  
 2.定期預金の入出金を除く  
 3.営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー  
 4.長期借入金の返済+リース債務の返済  
 5.営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー

- 営業キャッシュフロー合計は、前年同期比395億円増加の2,239億円となりました。
- 投資キャッシュフローは、前年同期比48億円減少しておりますが、ほぼ計画通りの進捗となっております。
- 財務キャッシュフローは有利子負債の返済、配当金支払などの結果、623億円のキャッシュアウトフローとなりました。キャッシュフロー合計では11億円のキャッシュインフローとなりました。
- なお、資料の最後に《参考》といたしまして、  
国際線収入大路別実績、航空機一覧、2016年3月期業績予想(10月30日に公表したもののより変更なし)をおつけしておりますので、ご参照ください。



明日の空へ、日本の翼



**JAPAN AIRLINES**

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部 財務部

# 《参考》国際線収入大路別実績



JAPAN AIRLINES

## 旅客収入 (対国際線全体比率)

| (単位:%)     | 前年同期  | 第3四半期<br>累計 | 前年同期差  | 第3四半期 | 前年同期差  |
|------------|-------|-------------|--------|-------|--------|
| 太平洋線       | 36.5% | 37.5%       | +1.0pt | 38.0% | +2.0pt |
| 欧州線        | 17.0% | 15.5%       | ▲1.5pt | 13.5% | ▲1.5pt |
| アジア・オセアニア線 | 35.0% | 35.5%       | +0.5pt | 38.0% | +0.0pt |
| 中国線        | 11.5% | 11.5%       | ▲0.0pt | 10.5% | ▲0.5pt |

## 有償旅客数

| (単位:千人)    | 前年同期  | 第3四半期<br>累計 | 前年同期比 | 第3四半期 | 前年同期比 |
|------------|-------|-------------|-------|-------|-------|
| 太平洋線       | 1,412 | 1,520       | +7.6% | 504   | +9.2% |
| 欧州線        | 495   | 482         | ▲2.5% | 150   | ▲1.6% |
| アジア・オセアニア線 | 2,968 | 3,101       | +4.5% | 1,045 | +3.7% |
| 中国線        | 931   | 961         | +3.3% | 273   | ▲5.6% |

## ASK

| (単位:百万席キロ) | 前年同期   | 第3四半期<br>累計 | 前年同期比 | 第3四半期 | 前年同期比 |
|------------|--------|-------------|-------|-------|-------|
| 太平洋線       | 13,684 | 14,674      | +7.2% | 4,900 | +6.2% |
| 欧州線        | 5,955  | 5,789       | ▲2.8% | 1,853 | ▲2.7% |
| アジア・オセアニア線 | 13,611 | 13,351      | ▲1.9% | 4,462 | ▲2.4% |
| 中国線        | 2,695  | 2,532       | ▲6.0% | 892   | +3.4% |

## Load Factor

| (単位:%)     | 前年同期  | 第3四半期<br>累計 | 前年同期差  | 第3四半期 | 前年同期差  |
|------------|-------|-------------|--------|-------|--------|
| 太平洋線       | 80.6% | 80.9%       | +0.3pt | 80.0% | +2.2pt |
| 欧州線        | 76.2% | 75.6%       | ▲0.6pt | 73.4% | ▲0.2pt |
| アジア・オセアニア線 | 72.0% | 80.1%       | +8.2pt | 81.7% | +7.8pt |
| 中国線        | 64.5% | 71.3%       | +6.8pt | 57.5% | ▲5.3pt |

## RPK

| (単位:百万人キロ) | 前年同期   | 第3四半期<br>累計 | 前年同期比 | 第3四半期 | 前年同期比 |
|------------|--------|-------------|-------|-------|-------|
| 太平洋線       | 11,032 | 11,873      | +7.6% | 3,920 | +9.2% |
| 欧州線        | 4,536  | 4,375       | ▲3.6% | 1,360 | ▲3.0% |
| アジア・オセアニア線 | 9,795  | 10,697      | +9.2% | 3,647 | +7.9% |
| 中国線        | 1,738  | 1,804       | +3.8% | 512   | ▲5.4% |

# 《参考》航空機一覽



JAPAN AIRLINES

|         |                   | 前年度末<br>2015/3/31 |     |     | 第3四半期末<br>2015/12/31 |     |    | 増減 |
|---------|-------------------|-------------------|-----|-----|----------------------|-----|----|----|
|         |                   | 所有                | リース | 合計  | 所有                   | リース | 合計 |    |
| 大型機     | Boeing 777-200    | 13                | 0   | 13  | 12                   | 0   | 12 | ▲1 |
|         | Boeing 777-200ER  | 11                | 0   | 11  | 11                   | 0   | 11 | -  |
|         | Boeing 777-300    | 7                 | 0   | 7   | 5                    | 0   | 5  | ▲2 |
|         | Boeing 777-300ER  | 13                | 0   | 13  | 13                   | 0   | 13 | -  |
|         | 大型機 小計            | 44                | 0   | 44  | 41                   | 0   | 41 | ▲3 |
| 中型機     | Boeing 787-8      | 20                | 0   | 20  | 22                   | 0   | 22 | +2 |
|         | Boeing 787-9      | 0                 | 0   | 0   | 2                    | 0   | 2  | +2 |
|         | Boeing 767-300    | 13                | 0   | 13  | 10                   | 0   | 10 | ▲3 |
|         | Boeing 767-300ER  | 24                | 8   | 32  | 27                   | 5   | 32 | -  |
|         | 中型機 小計            | 57                | 8   | 65  | 61                   | 5   | 66 | +1 |
| 小型機     | Boeing 737-400    | 12                | 0   | 12  | 12                   | 0   | 12 | -  |
|         | Boeing 737-800    | 21                | 29  | 50  | 21                   | 29  | 50 | -  |
|         | 小型機 小計            | 33                | 29  | 62  | 33                   | 29  | 62 | -  |
| リージョナル機 | Embraer 170       | 15                | 0   | 15  | 17                   | 0   | 17 | +2 |
|         | Bombardier CRJ200 | 9                 | 0   | 9   | 9                    | 0   | 9  | -  |
|         | Bombardier D8-400 | 9                 | 2   | 11  | 9                    | 2   | 11 | -  |
|         | SAAB340B          | 13                | 0   | 13  | 13                   | 0   | 13 | -  |
|         | Bombardier D8-300 | 1                 | 0   | 1   | 1                    | 0   | 1  | -  |
|         | Bombardier D8-100 | 4                 | 0   | 4   | 4                    | 0   | 4  | -  |
|         | リージョナル機 小計        | 51                | 2   | 53  | 53                   | 2   | 55 | +2 |
| 合計      | 185               | 39                | 224 | 188 | 36                   | 224 | -  |    |

# 《参考》2016年3月期業績予想(連結業績)



JAPAN AIRLINES

2015年10月30日公表の業績予想

| (単位:億円)                   | 前年度実績  | 2016年3月期予想    |
|---------------------------|--------|---------------|
| 営業収益                      | 13,447 | <b>13,470</b> |
| 営業費用                      | 11,650 | <b>11,430</b> |
| 営業利益                      | 1,796  | <b>2,040</b>  |
| 営業利益率(%)                  | 13.4%  | <b>15.1%</b>  |
| 経常利益                      | 1,752  | <b>2,020</b>  |
| 当期純利益 <sup>(1)</sup>      | 1,490  | <b>1,720</b>  |
| ユニットコスト(円) <sup>(2)</sup> | 8.9    | <b>9.2</b>    |

|                      | 2016年3月期予想   |
|----------------------|--------------|
| ASK* 国際線             | <b>+1.5%</b> |
| 国内線                  | <b>▲1.1%</b> |
| ASK合計                | <b>+0.4%</b> |
| RPK* 国際線             | <b>+6.7%</b> |
| 国内線                  | <b>+0.3%</b> |
| *前年度実績を100として        |              |
| 為替(円/USD)            | <b>123.4</b> |
| シンガポールケロシン (USD/bbl) | <b>70.3</b>  |
| ドバイ原油 (USD/bbl)      | <b>56.1</b>  |

注:(1)親会社株主に帰属する当期純利益

(2)ユニットコスト=航空運送連結費用(燃油費、収入費用両建ての関連会社向け取引を除く)/ASK

本資料には、日本航空株式会社(以下「当社」といいます)及びそのグループ会社(以下当社と併せて「当社グループ」といいます)に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点(又はそこに別途明記された時点)において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点(又はそこに別途明記された時点)のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有していません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。